

「白堊研究Ⅰ」（第15回）学習指導案

- 1 単元名 「評価方法を考える」
- 2 本時の目標
 - ・評価方法には、「定量評価」「定性評価」があることを理解する。
 - ・「定量評価」で結果を出すために、「定性評価」が必要なことを感じさせる。
 - ・「定性評価」を「定量評価」にする「ループリック評価」を知る。
 - ・自身の質を高めるために、正しく評価することが大切なことを知る。
- 3 本時について
 - (1) 特徴

学習において、良い結果（「定量評価」）を出すためには、質の良い学習（定性評価）が必要となる。よって、生徒に普通の生活において「定性評価」を導入させれば、より質の良い学習が行われ、成績の向上が望めると考える。
 - (2) 用語

「定量評価」 数字・数量による評価
 「定性評価」 数字・数量による評価ができないものに対して行う、物事の質による評価。
 「ループリック評価」 新教育課程にむけて活用されている評価方法。アクティブラーニングに対するパフォーマンス評価。生徒に身に付けさせたいものを目標（評価規準）として設定し、どこまで達成されたかをレベル分け（評価基準）して評価する方法。
 - (3) 指導上の注意

今回は、細かい時間管理が必要となる。タイマーを使った時間管理と作業管理に配慮する。
- 4 準備・資料

＜授業時間前配布＞

 - ・生徒人数分 付箋（赤・青）、マッキー
 - ・グループ分 A3白紙（KJ法用）

＜授業まとめの時に配布＞

 - ・生徒人数分 「白堊研究Ⅱ」ループリック評価
- 5 展開

過程	学習活動	指導内容および留意点
授業前	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを形成する ・教材を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1班4～5名（9～10班）編成にさせる。 ・時間前に教室に入り、配付物を配付する。 付箋（赤・青）、マッキー（生徒人数分） A3白紙（KJ法用）（グループ分）
導入 (1) 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的を確認する 	<p>「今回は、評価方法について考えていきたいと思います。「評価」って、先生がして、生徒はされる側では？なんて、受け身に考えていませんか。いい評価を受けるためには、まずは自分で、自身を正しく評価することが必要です。」</p>
導入 (2) 12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションテーマを理解する（1分） ・班でディスカッションする（3分） ・クラス内で発表する（2分） ※2班程度 ・ディスカッションテーマを理解する（1分） ・班でディスカッションする（3分） ・クラス内で発表する（2分） ※2班程度 	<p>「まず、最初に話し合いをしてもらいます。その後、発表してもらいます。テーマは「成績の「よい」とか「わるい」はどのように評価しますか？」です。では、3分間、はじめてください。」</p> <p>「では、○班発表してください」 ※発表内容を教員が黒板にメモする。 （教員は、適切に相槌等を打つ。） （たぶん、定量的な内容（テストの点数が良い。評定が良いなど）が発言されるはず。）</p> <p>「次のテーマは「人間性がある」はどのように評価しますか？」です。 「では、3分間、はじめてください。」</p> <p>「では、○班発表してください」 ※発表内容を教員が黒板にメモする。 （教員は、適切に相槌等を打つ。） （たぶん、定性的な内容（やさしい。たすけてくれるなど）が発言されるはず。）</p>
導入 (3) 3分	<ul style="list-style-type: none"> ・「定量評価」「定性評価」を理解する 	<p>「テーマによって評価方法が違うようですね。「成績がよい・わるい」のように数字や数量で評価することを「定量評価」といいます。それに対し、数量で評価できず、性質等で評価することを「定性評価」といいます。」</p>

<p>展開 30分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ディスカッションテーマを理解する（2分） • 各自、ブレインストーミングする（3分） • 発表の仕方を確認する（2分） • 班内で発表する（5分） • 話し合いの内容を確認する（3分） • グループでディスカッションする（10分） • クラス内で発表する（5分） ※3班程度 	<p>「では、いよいよ本題に入ります。みなさんが普段、家で行っている「勉強をした」を評価してください。みなさんは「勉強をした」をどのように評価しますか、まずは各自が<u>青い付箋</u>に「評価方法」を書き出すブレインストーミングを行ってください。」</p> <p>「時間は3分です。始めてください。」 「(3分後) やめてください。」</p> <p>「つぎに、各自が考えた評価方法を、A3の用紙に付箋を貼りながら、発表してください。似た意見は付箋をまとめながら行うとよいです。」</p> <p>「時間は5分間です。始めてください。」 「(5分後) やめてください。」</p> <p>「今度は、それぞれの評価方法について、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優れている点、問題点について • 「勉強した」を評価するには「定量評価」がよいのか「定性評価」が良いのか • 最終的に「勉強した」をどのようなにどう評価したらよいのか (※必要に応じて板書しておく) <p>を話し合っていてください。話し合っただけの意見は、赤い付箋にメモして貼っていてください。最後にその内容を発表してもらいます。」</p> <p>「話し合いの時間は10分間です。始めてください。」 「(10分後) やめてください。」</p> <p>「では、〇班発表してください」 ※発表内容を教員が黒板にメモする。 (教員は、適切に相槌等を打つ。) (勉強は、単純に量(時間, 問題数)ではなく、質(正しく(正確に)理解できた。どんな出題方法にも100%対応できる。一時的ではなく長期記憶されたなど)を伴う量であること。それが、結果(数字)として現れると話が進むことが望ましい。) (過程は「定性評価」、結果は「定量評価」で評価することが多いこと。) (過程で高い評価が得られなければ、良い結果が得られないことが理解できれば、良いと考える。)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「白壁研究Ⅱループリック評価」を見る。(1分) • 「ループリック評価」を知る(4分) 	<ul style="list-style-type: none"> • 「白壁研究Ⅱループリック評価」を配布する。 <p>「今、配布した資料は、「定性評価」を「定量評価」に変換するために活用される表です。ヒトは、最終的に、評価するにあたり、数字にした方が分かりやすいためです。」 「この資料の評価方法は、ループリック評価とよばれるものです。パフォーマンス評価として活用されています。身に付けたい目標を(評価規準)として設定し、どこまで達成されたかをレベル分け(評価基準)して評価する方法。みなさんもこれを参考に、「勉強した」についてのループリック評価をつくってみてはいかがでしょうか。」</p>
<p>おわり 2分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プリントの回収をする。 • 礼儀正しく挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> • マッキー、付箋(赤・青)、KJ法の用紙 <p>「以上で、授業を終わりにします」(号令)</p>

「白堊研究Ⅰ」【Check-List】<教員用>

⑮評価方法を考える

1年()組

○を記入し、「要因」を記載する。↓

・時間通りできなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・指示がうまくいかなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・生徒が積極的に動かなかった。		<input type="checkbox"/>
要 因		
・その他の問題点		